

理学療法かごしま 投稿規定

1. 本誌の目的

本誌は、鹿児島県理学療法士協会の会誌として、理学療法の学術及び技能の情報公開の場を提供し、理学療法の発展に寄与することを主な目的とする。

2. 投稿記事の種類

記事の種類は、原著、症例研究、短報、その他（症例報告、実践報告、総説など学術誌部で掲載を承認されたもの）とする。投稿原稿は他紙に掲載予定がなく未発表の邦文とし、二重投稿は認めない。また、総説は学術誌部からの依頼原稿を原則とする。

※ 症例研究：症例の臨床的問題や治療結果について科学的に研究を行い、考察を行った論文。

※ 短報：研究の速報・略報として簡潔に記載された短い研究論文。

※ 症例報告：症例の治療および経過などについて論理的に提示し、考察を行ったものの。

※ 実践報告：理学療法の研究・教育・臨床等の実践の中で、新たな工夫や介入、結果等について具体的かつ客観的に情報提示し、その内容が有益と判断されたものの。

3. 投稿者の資格

投稿は、原則として本会会員に限る。共著者においても理学療法士の場合は本会会員に限る。他職種は制限しない。

4. 本文の字数および図表の枚数

〔原著、症例研究〕

原則として文献を含め 12000 字以内とする。図表は 6 点以内とする。

〔短報、症例報告、実践報告など〕

原則として文献を含め 6000 字以内とする。図表は 4 点以内とする。

〔総説〕

依頼時に規定する。

※ 論文題名、著者氏名等を記載した表紙、要旨、図表は文字数に含めない。

5. 執筆要項

- 1) 原稿は Windows 版の Microsoft word、またはテキストファイルを用いて A4 判の用紙に横書きで作成する。用紙には左端に通しで行番号を入れ、一段組み 12 ポイントの文字で、ダブルスペースにて 40 字×20 行（1 ページ当たり 800 字）で入力する。また、下部中央にはページ番号を挿入する。常用漢字、ひらがな、現代仮名使いを用い、文献、人名、薬品名、生物学名などは原語を用いる。
- 2) 英数文字や記号は半角とし、原則として特殊文字は使用しない。
- 3) 数字は算用数字を用い、度量衡単位は国際単位系（SI 単位）を用いる（長さ：m、質

2022 年 4 月 1 日

2025 年 6 月 1 日

量：kg, 時間：s, 温度：°C, 周波数：Hz 等)。

- 4) 原著, 症例研究, 短報, 症例報告, 実践報告については原則として緒言 (はじめに), 対象と方法 (症例報告), 結果 (経過), 考察, 結論, 文献等の小見出しをつけ, これらの順に構成・記載する。
- 5) 表紙には論文タイトル, 著者氏名 (著者の資格を示すもの, 例えば PhD, PT など), 所属および責任著者の連絡先 (住所, 電話番号, FAX 番号, E-mail), 領域 (以下のリストから 1 つを選択), 投稿記事の種類, 原稿の枚数, 図表の枚数, 5 つ以内のキーワードを記載する。

※領域のリスト

脳卒中	神経筋障害	脊髄障害	発達障害	運動器
切断	スポーツ	徒手理学療法	呼吸	循環
代謝	地域理学療法	健康増進・参加	介護予防	補装具
物理療法	褥瘡・創傷ケア	疼痛管理	臨床教育	管理・運営
学校教育				

- 6) 論文には和文の要旨 (400 字程度) をつける。
- 7) 図表は本文とは分けて記載する。記載順序は, 文献の後に, 図表説明, 表, 図の順とする。また, 図表はそれぞれ各 1 枚に記載すること。
- 8) 図表の説明には, 図表の番号, タイトルおよび簡潔な説明を含む。
- 9) 図の中の線 (直線, 曲線など), 文字, 数字, 記号などは, 縮小印刷した場合にも判読可能な大きさとする。特に, 写真に関しては縮小・拡大しても印刷に耐えうる程度の解像度を有すること。
- 10) 掲載が決定した際には, 図を TIFF 形式で提出すること。
- 11) 引用文献は必要最小限にとどめ, 引用順に通し番号をつけ, 本文の最後に「文献」として引用順に列挙する。番号は本文中の引用箇所の上肩に右片カッコにしてつける (すべて半角文字を用いる)。著者は全て連記する。
- 12) 文献の記載方法は以下の例に従う。引用文献の著者氏名が 3 名以上の場合は最初の 2 名を記載する。

(雑誌の場合)

- 1) 宮本謙三, 竹林秀晃, 他: 加齢による敏捷性機能の変化過程— Ten Step Test を用いて—。理学療法学。2008; 35: 35–41.
- 2) Tompkins J, Bosch PR, et al.: Changes in functional walking distance and health-related quality of life after gastric bypass surgery. Phys Ther. 2008; 88: 928–935.

(書籍の場合)

- 3) Kocher MS: Evaluation of the medical literature. Chap 4. In: Morrissy RT and Weinstein SL (eds): Lovell and Winter's Pediatric Orthopaedics. 6th ed, Lippincott Williams & Wilkins, Philadelphia, 2006, pp. 97–112.

2022 年 4 月 1 日

2025 年 6 月 1 日

4) 名郷直樹：EBM の現状と課題，エビデンスに基づく理学療法活用と臨床思考過程の実際．内山 靖（編），医歯薬出版，東京，2008，pp. 18–38.

13) 機器名の記載法について、機器名は、「一般名（会社名，製品名）」で表記する。なお、統計ソフトは「製品名，バージョン番号，会社名」とする。

6. 倫理

実験は、ヘルシンキ宣言に基づく倫理基準，あるいはわが国の医学系研究に関する倫理指針・動物実験関連法規を遵守して実施されなければならない。当該研究がこれらのガイドラインに従って実施されたことを投稿論文内に明記し，さらに所属機関の倫理委員会，あるいは実験動物委員会等が発行した承認書の承認番号を論文中に記載するものとする。

7. 投稿承諾書

著者の論文への責任および著作権譲渡の確認のため，別紙の「理学療法かごしま投稿承諾書」に自筆による署名をして提出すること。

8. 利益相反

利益相反がある場合は，その旨原稿に明記すること。なお，利益相反に関しては，厚生労働省の指針を参照すること。

9. 投稿手続

Microsoft word で作成した投稿原稿（原稿ならびに図表）を，メールに添付し，学術誌部（kpta.journal@gmail.com）宛に送付する。なお，原稿受付年月日は原稿が学術誌部に到着した日とし，受理年月日は原稿の審査が終了し，掲載可能となった日とする。

10. 引用・転載の許諾について

他著作物からの図表の引用・転載については，著作権保護のため原出版社および原著者の許諾が必要である。引用・転載を行う場合は投稿者があらかじめ許諾を得て，その旨を図表説明に明記すること。

11. 掲載の採否

掲載の採否は学術誌部で決定する。査読の結果，編集方針にしたがって原稿の修正を求められることがある。また，必要に応じて学術誌部の責任において字句の訂正を行うことがある。

12. その他

掲載された論文等の著作権は，鹿児島県理学療法学会に属する。採用された原稿の印刷校正は投稿者の責任において行い，著者校正は原則 1 回のみとする。

13. 掲載に関する費用

掲載料等の徴収はない。

14. 問合せ先

鹿児島県理学療法士協会学術誌部

E-mail: kpta.journal@gmail.com

2022 年 4 月 1 日

2025 年 6 月 1 日